

各 位



平成25年10月24日

会 社 名 日本ケミカルリサーチ株式会社  
代表者名 取締役会長兼社長 芦 田 信  
(東証2部 コード番号4552)  
問合せ先 管理本部 総務部長 三浦 祐一  
(TEL 0797-32-8591)

#### Mesoblast社への細胞性医薬品のライセンサー変更について

当社は、移植片対宿主病（GVHD）の治療薬としてヒト間葉系幹細胞（MSC）を利用した細胞性医薬品を国内で開発しております。このたび、MSC技術のライセンサーおよび所有者がオサイリス社（Osiris Therapeutics, Inc.）からメゾブラスト・グループ（Mesoblast Group）に変更となりましたのでお知らせします。

当社は、2003年にオサイリス社より日本国内における製造・開発・販売権を取得する契約を締結して、JR-031（当社開発番号）の開発をスタートしました。今回、オサイリス社がMSCに関する権利をメゾブラスト社に譲渡したことにより、既存の契約上当社の保有する権利のライセンサーもメゾブラスト社に変更となったものです。これを機に、両社の協業効果を向上させるため提携拡大も視野に入れながら積極的な関係構築を図り、パートナーシップが最大限発揮されていくことを期待しています。

当社が国内初の細胞性医薬品として開発を進めているJR-031は、現在、臨床開発の最終段階にあり、今年度中の製造販売承認の申請を予定しておりますが、本件がJR-031の今後の開発スケジュールに与える影響は全くありません。また、当社の業績への影響もありません。

以上

#### 【Mesoblast Groupについて】

Mesoblast Limited（オーストラリア証券取引所ASX上場銘柄「MSB」、米国店頭市場銘柄「MBLTY」）は、再生医療の幅広い領域において生物学的製品の開発の世界的リーダーである。同社独自の技術には間葉系前駆細胞（MPC）技術基盤、培養された間葉系幹細胞（MSC）、歯髄由来幹細胞（DPSC）および培養された造血幹細胞（HSC）を含む。同社の同種他家由来、すなわち「既製の」再生医薬品は、ダメージを受けた組織の修復および重要なアンメット・メディカル・ニーズ（満たされない医療ニーズ）の状態における炎症反応の調整に焦点をおいている。主要な製品候補は、同社のMPCおよびMSC基盤技術を全身性炎症、心臓血管疾患、脊椎の整形外科的疾患およびがん疾患の4分野にわたり活用している。[www.mesoblast.com](http://www.mesoblast.com)